

2008年3月期中間決算説明会

2007年11月14日

Nabtesco Corporation

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

第一部

I. 2008年3月期中間連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

第二部

建設機械用走行ユニットの特徴と
その市場展開

第一部

I. 2008年3月期中間連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

第二部

建設機械用走行ユニットの特徴と
その市場展開

損益概況 (前期比)



(単位:億円)	2006/9	2007/9	増減	率
売上高	779	840	61	7.9%
営業利益	81	96	14	18.2%
営業外損益	2	6	3	—
経常利益	84	102	18	21.6%
特別損益	-2	-5	-3	—
税引前利益	81	96	15	18.4%
中間純利益	47	58	10	22.8%
一株当たり 中間純利益	37.80円	46.37円	8.57円	

一株当たり 中間配当金	7円	8円	1円
----------------	----	----	----

増減要因

■ 売上高

エマージングマーケットを中心とした建設機械需要の伸張、自動車業界の設備投資活発化による産業用ロボットの回復等により増収。

■ 営業利益

売上の増による	17億円
コストリダクション及び販売価格影響	4億円
原材料費の値上り	-1億円
償却負担の増等	-6億円
計	14億円

■ 営業外損益

持分法投資利益の増加	3億円
------------	-----

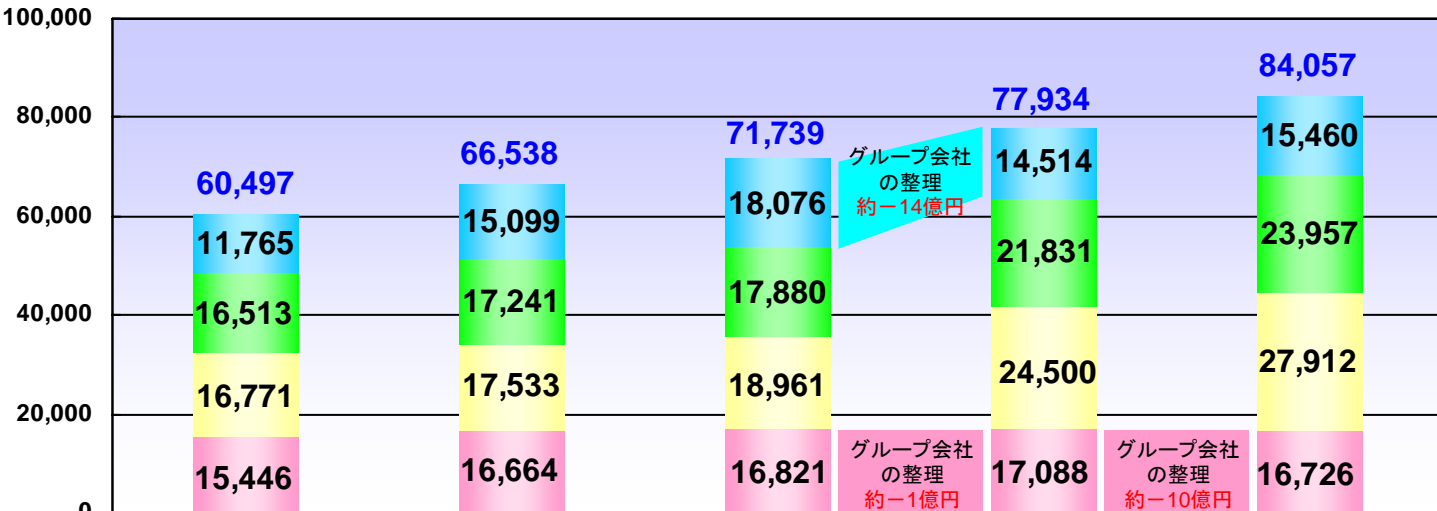
■ 特別損益

退職金制度の変更に伴う一時的損失	-3億円
------------------	------

事業セグメント別 売上・営業利益推移



(百万円)

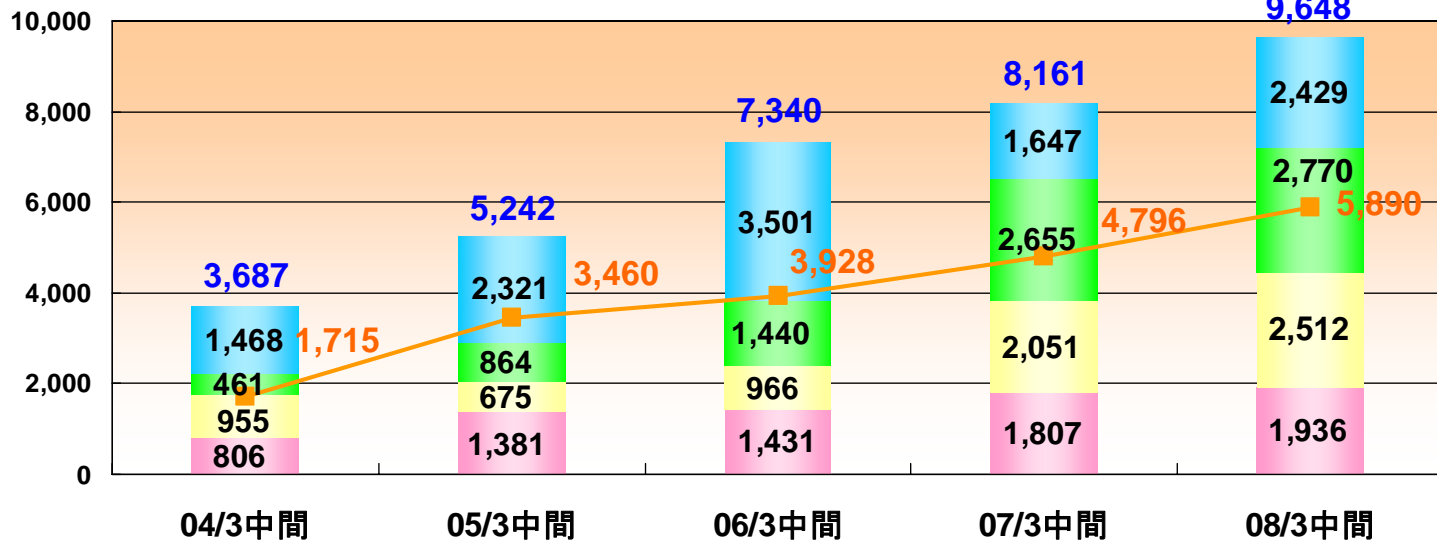


中間期売上高

当初予想	83,000百万円
1Q時予想	83,000百万円
実績	84,057百万円

- 精密機器
- 輸送用機器
- 航空・油圧機器
- 産業用機器

(百万円)



中間期営業利益

当初予想	8,450百万円
1Q時予想	9,200百万円
実績	9,648百万円

中間期純利益

当初予想	4,700百万円
1Q時予想	5,100百万円
実績	5,890百万円

主要製品と顧客 (敬称略)

●精密減速機

ロボット: ファナック・安川電機・KUKA (独)・ABB (スウェーデン)

工作機械: オークマ・ヤマザキマザック・森精機製作所

半導体製造装置: 東京エレクトロン

(単位:百万円)	2006/9	2007/9	増減	率
売上高	14,514	15,460	946	6.5%
営業利益	1,647	2,429	782	47.5%
営業利益率	11.4%	15.7%		

売上高

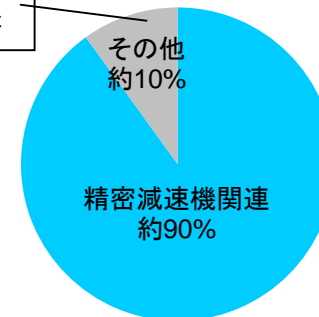
当初予想	15,000百万円
1Q時予想	15,000百万円

営業利益

当初予想	1,950百万円
1Q時予想	2,400百万円

- 自動車業界の設備投資が調整期を脱し、主力の産業用ロボット向け精密減速機が回復。
- 工作機械向けは引き続き好調。
- 新工場立上による生産性向上等により、増益。

真空機器
光造形装置等



売上高構成比

輸送用機器事業



主要製品と顧客 (敬称略)

● 鉄道車両用機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR各社・民鉄各社・川崎重工・日本車輛製造・北京地下鉄・他

● 商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

三菱ふそうトラック・バス・日野自動車・いすゞ自動車・日産ディーゼル工業

● 船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工・三井造船・三菱重工・MAN Diesel (デンマーク)

(単位:百万円)	2006/9	2007/9	増減	率
売上高	21,831	23,957	2,126	9.7%
営業利益	2,655	2,770	115	4.3%
営業利益率	12.2%	11.6%		

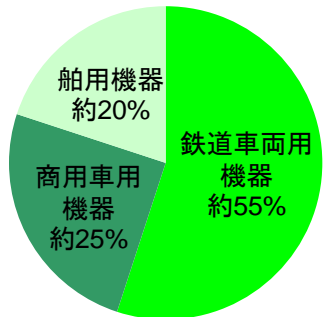
売上高

当初予想	24,000百万円
1Q時予想	24,000百万円

営業利益

当初予想	3,000百万円
1Q時予想	3,000百万円

- 鉄道車両用機器は中国大型プロジェクト向けの減を国内車両更新需要がカバーし増収。
- 商用車用ブレーキ装置は国内特需収束も、トラック輸出が増え、売上高前年並み。
- 船用機器は新造船の世界需要堅調、売上高増加。
- 船用機器の収益性改善等により増益。



売上高構成比

主要製品と顧客 (敬称略)

●油圧機器

走行ユニット: コマツ・コベルコ建機・住友建機・新キャタピラー三菱・ヤンマー建機

風力発電機用駆動装置: 三菱重工・他

●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

ボーイング・川崎重工業・IHI・三菱重工業・防衛省

(単位:百万円)	2006/9	2007/9	増減	率
売上高	24,500	27,912	3,412	13.9%
営業利益	2,051	2,512	461	22.5%
営業利益率	8.4%	9.0%		

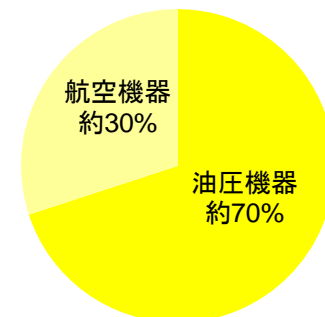
- 油圧機器は国内外建設機械需要が拡大、増収。
- 風力発電機用駆動装置も増収。
- 航空機器は防需関連が減少したものの、民間航空機の好調により売上高増。
- 各事業の増収効果により増益。

売上高

当初予想	27,000百万円
1Q時予想	27,000百万円

営業利益

当初予想	1,800百万円
1Q時予想	2,100百万円



売上高構成比

産業用機器事業



主要製品と顧客 (敬称略)

●自動ドア

各種建物用自動ドア: 大手ゼネコン各社・トステム・Michaels (米国手芸品店チェーン)・他
 プラットフォームドア: ゆりかもめ・東京地下鉄・天津地下鉄(中)・ソウルメトロ(韓)

●包装機 食品充填包装機

味の素・日本ハム・大塚食品・ハウス食品・森永乳業・ロッテ・Nestle (スイス)

(単位:百万円)	2006/9	2007/9	増減	率
売上高	17,088	16,726	-362	-2.1%
営業利益	1,807	1,936	129	7.1%
営業利益率	10.6%	11.6%		

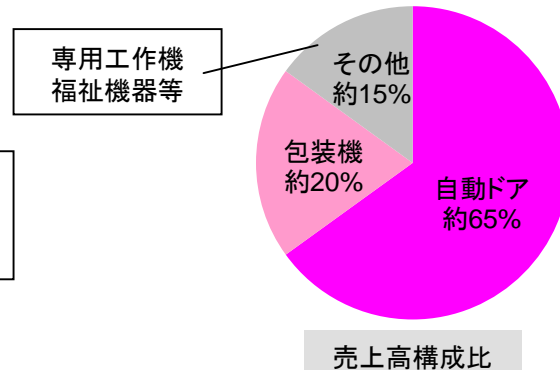
売上高

当初予想	17,000百万円
1Q時予想	17,000百万円

営業利益

当初予想	1,700百万円
1Q時予想	1,700百万円

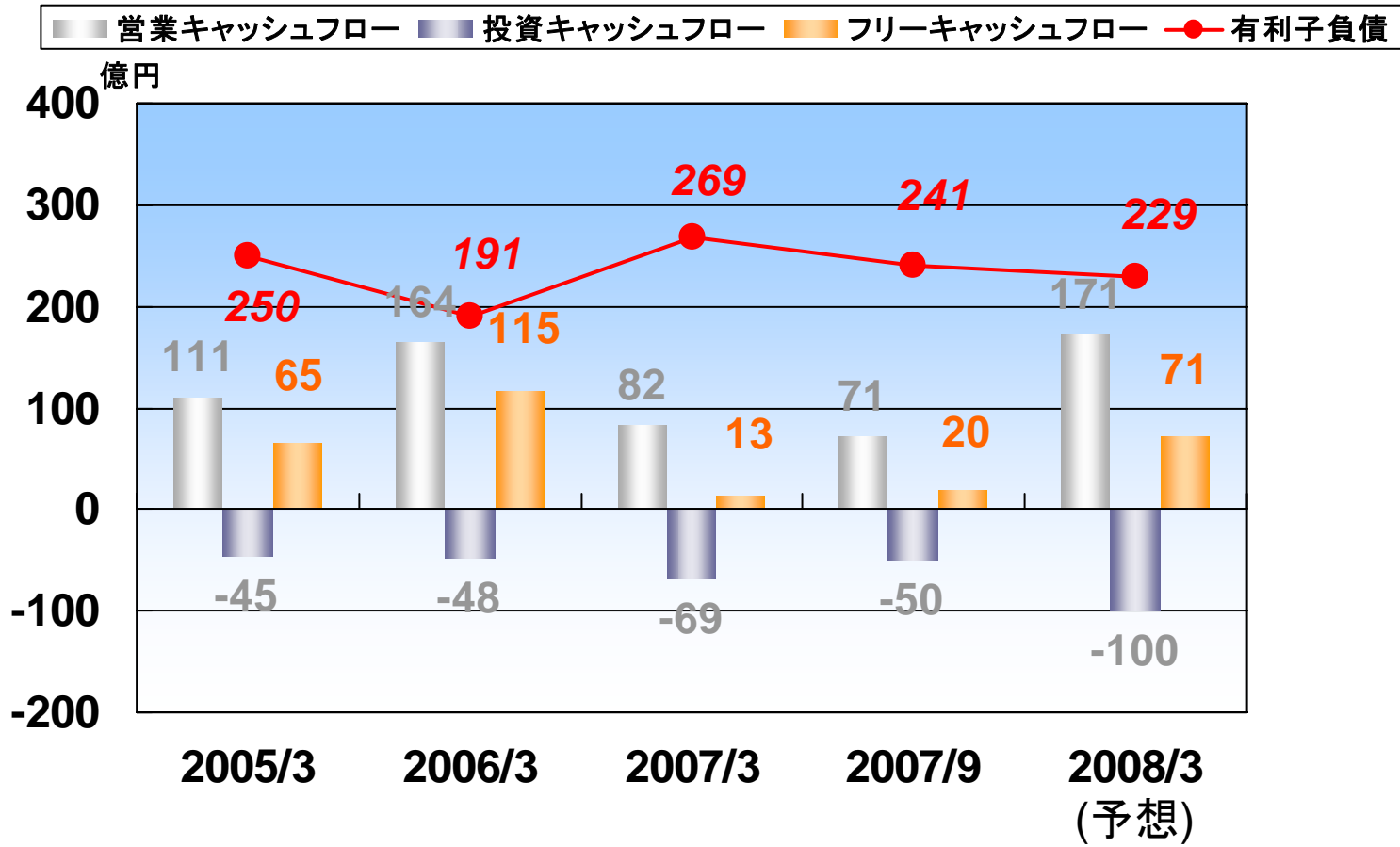
- 自動ドアは海外向けプラットフォームドアの増加により増収。
- 包装機はペットフード向け輸出が好調。
- 等速ジョイント加工機は自動車業界の設備投資回復に伴い、増収。
- 海外子会社の譲渡による売上高減少約10億円。
- 自動ドア、包装機を中心とした収益性向上により増益。



(単位:億円)	2006/9	2007/9	差異	コメント
資 産	1,502	1,646	143	
(現 預 金 等)	151	245	94	
(売 上 債 権)	469	488	18	売上増による
売上債権回転日数	106	104	-2	
(棚 卸 資 産)	176	205	28	売上増対応
棚卸資産回転日数	52	56	4	
(有 形 固 定 資 産)	439	432	-6	
負 債	783	837	54	
(有 利 子 負 債)	181	241	59	転換社債の発行
純 資 産	718	808	89	
(少 数 株 主 持 分)	39	43	4	

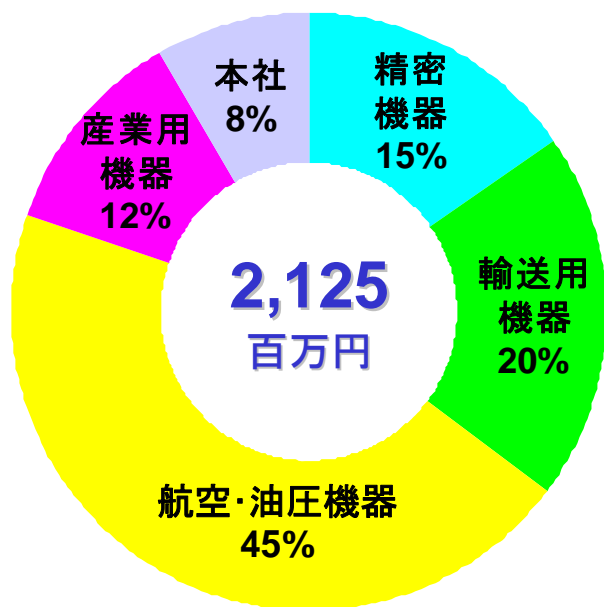
※ 自己資本比率: **45.2%** **46.5%**

キャッシュ・フロー&有利子負債推移

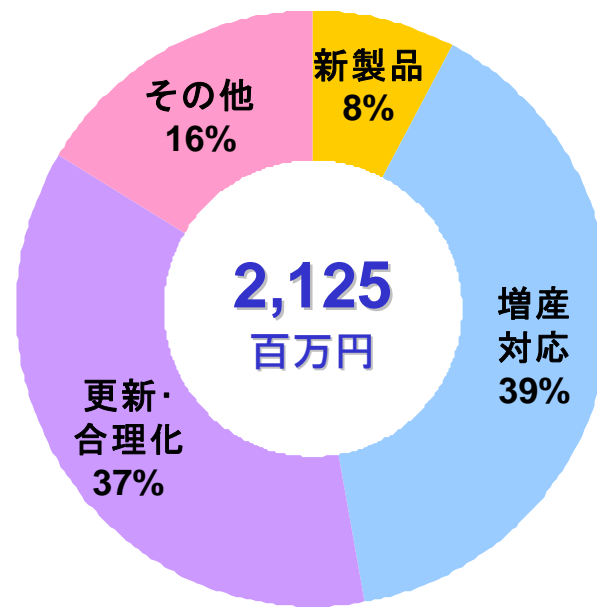


(百万円)	2006/9	2007/9	2008/3計画
設備投資額	4,357	2,125	7,500
研究開発費	1,968	1,990	4,100
減価償却費	2,214	2,422	5,600

セグメント別設備投資額



目的別設備投資額



第一部

I. 2008年3月期中間連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

第二部

建設機械用走行ユニットの特徴と
その市場展開

損益見通し



(単位:億円)	2007/3	2008/3	増減	率
売上高	1,614	1,680	65	4.1%
営業利益	164	188	23	14.4%
経常利益	168	195	26	15.6%
当期純利益	97	110	12	12.4%

一株当たり 配当金	14円	16円(予)	2円
--------------	-----	--------	----

■売上高

建設機械の好調、自動車業界の設備投資回復、造船需要の増等の事業環境により増収。グループ会社の譲渡による減26億円をカバー。

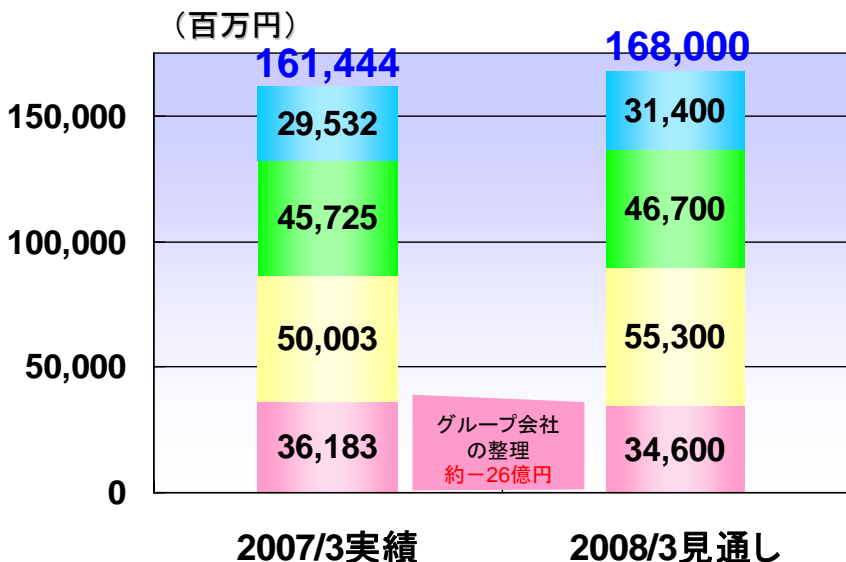
■営業利益

売上の増による	26億円
コストリダクション及び販売価格影響	12億円
原材料費の値上がり	-4億円
償却負担の増等	-11億円
計	23億円

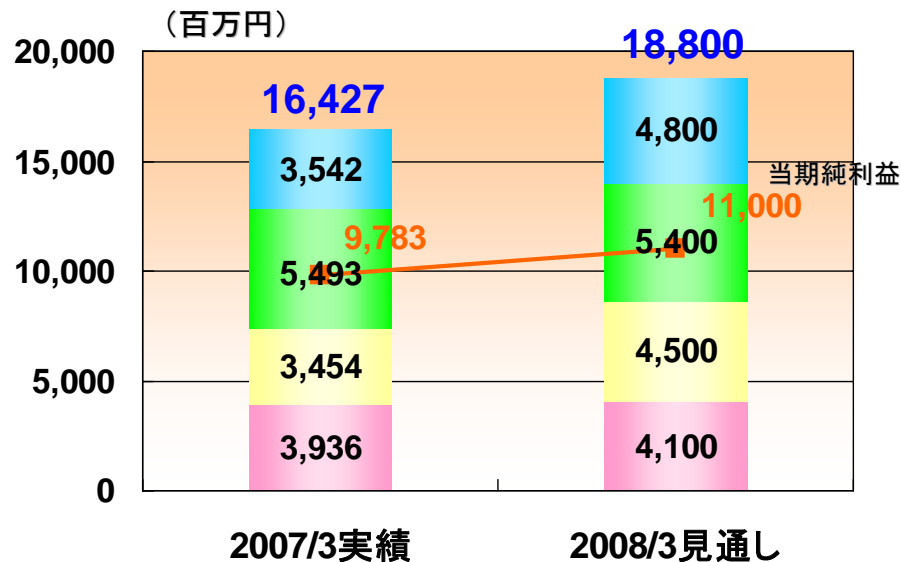
事業セグメント別売上高・営業利益見通し



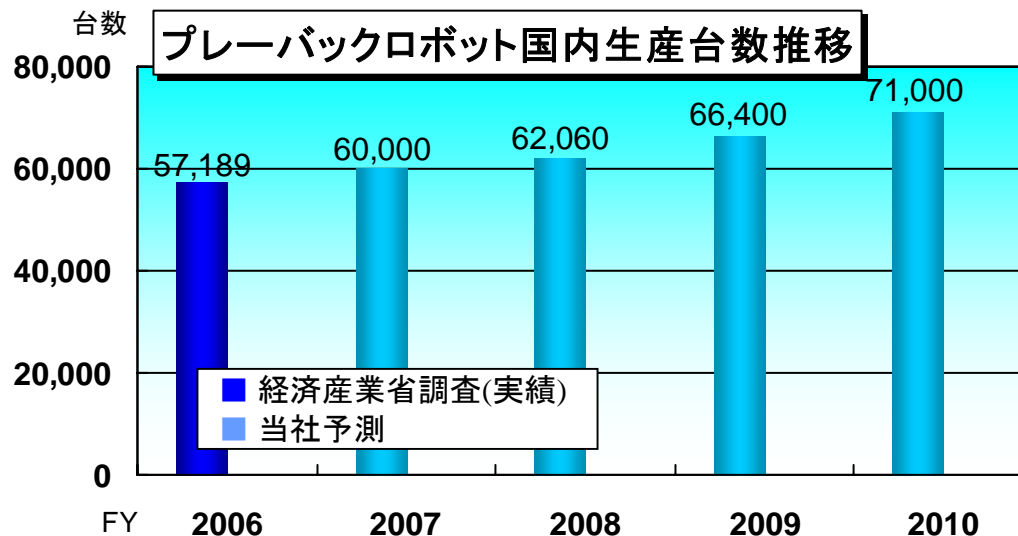
【売上高】



【営業利益・当期純利益】



- 精密機器
- 輸送用機器
- 航空・油圧機器
- 産業用機器

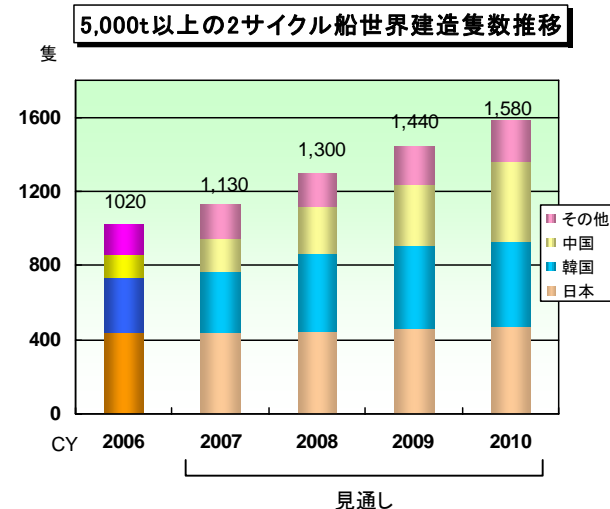
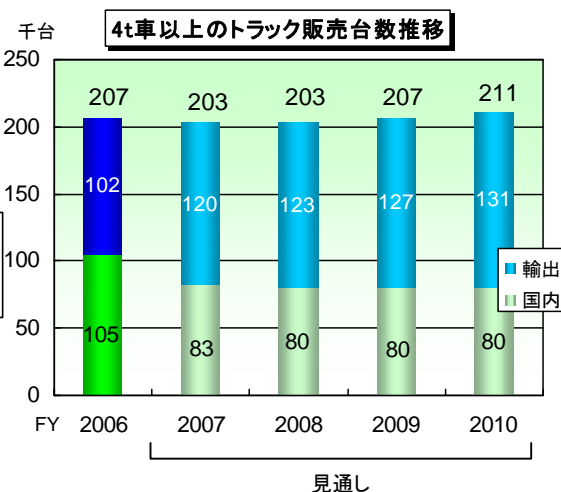
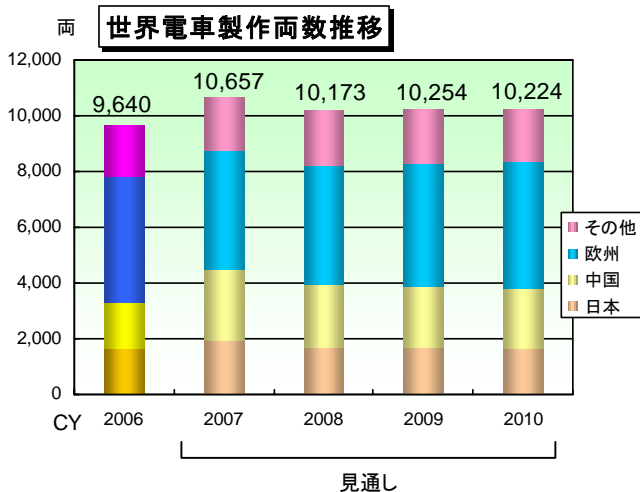


(単位:百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車業界の設備投資活性化により産業用ロボット向け減速機が回復工作機械向けも拡大。 ● 新工場増設効果が寄与。
売上高	29,532	31,400	1,867	6.3%	
営業利益	3,542	4,800	1,258	35.5%	
営業利益率	12.0%	15.3%			

輸送用機器業績見通し



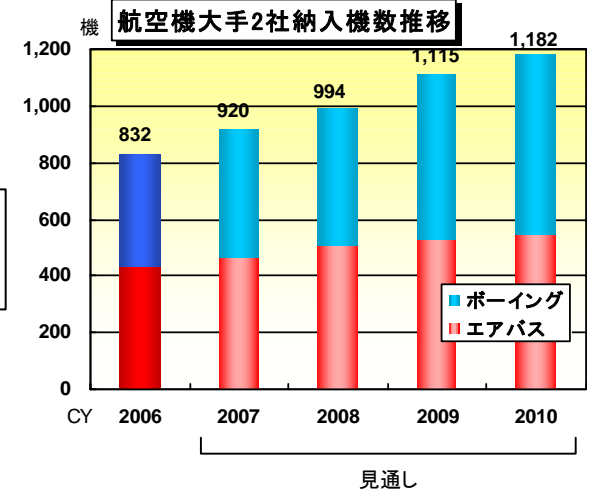
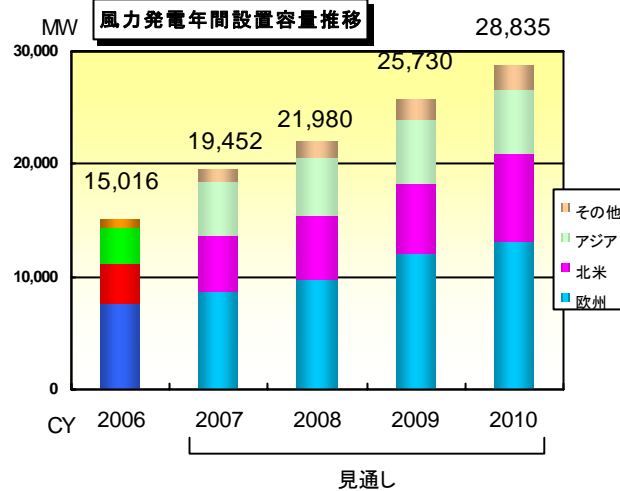
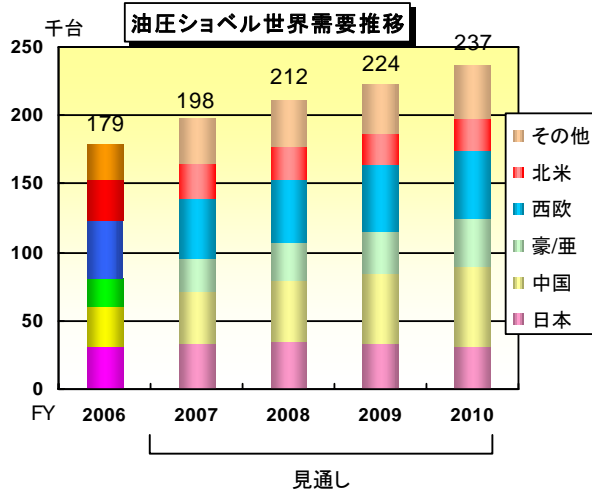
図表：当社調査



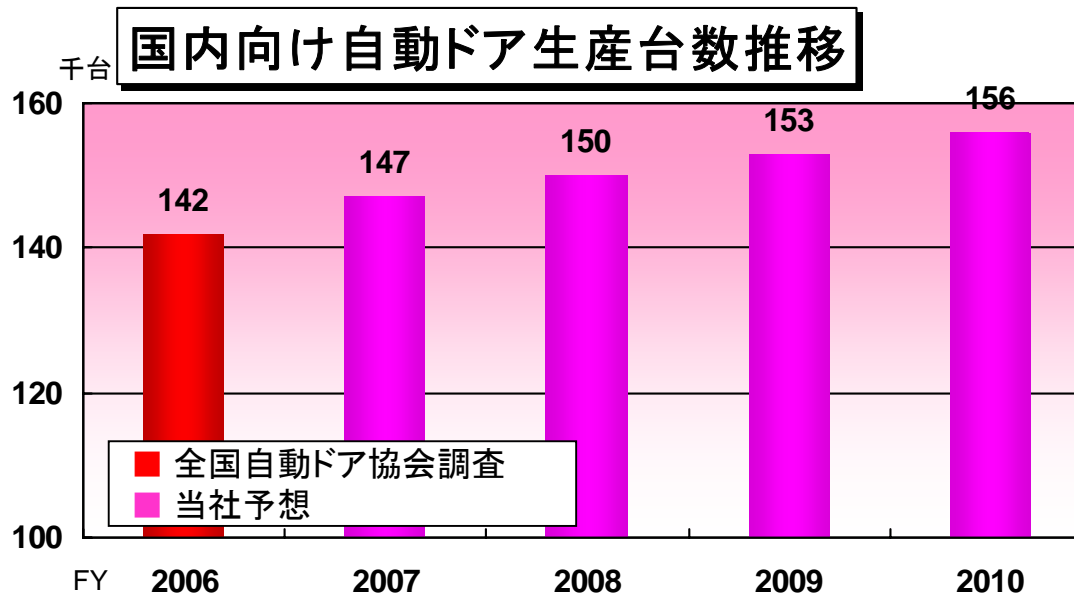
(単位:百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率
売上高	45,725	46,700	975	2.1%
営業利益	5,493	5,400	-93	-1.7%
営業利益率	12.0%	11.6%		

- 鉄道車両用機器は中国大型プロジェクト向けの減少を国内更新需要がカバーし、売上高前年並みも、製品構成差により減益。
- 商用車用機器は補修品の減少により減収の見込み。
- 船用機器は世界的造船需要拡大が持続し、増収。

図表：当社調査



(単位：百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率	<ul style="list-style-type: none"> ● 油圧機器は建設機械の世界的な高レベルの需要に支えられ増収。 ● 風力発電機用駆動装置も拡大の見通し。 ● 航空機器は民間機向け補修ビジネスも回復、増収。
売上高	50,003	55,300	5,297	10.6%	
営業利益	3,454	4,500	1,046	30.3%	
営業利益率	6.9%	8.1%			



(単位:百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率	
売上高	36,183	34,600	-1,583	-4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動ドアのシェア維持。 ● プラットフォームドアは国内外で増加。 ● 包装機械は国内外需要の増加により増収。 ● 海外子会社の売却による売上高減約26億円。
営業利益	3,936	4,100	164	4.2%	
営業利益率	10.9%	11.8%			

目標とする経営指標



	2008年3月期見通し	2008年3月期 《中期経営計画最終年度》
売上高	1,680億円	1,550億円
当期純利益	110億円	95億円
ROE	14.3%	15%
ROA	6.7%	8%
フリーCF	200億円(3カ年累計)	250億円(3カ年累計)
D/Eレシオ	0.28	0.05

(2005年5月公表)

2009年3月期を初年度とする次期中期経営計画(3カ年)は2008年5月発表の予定

第一部

I. 2008年3月期中間連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

第二部

建設機械用走行ユニットの特徴と
その市場展開

当社製品をよりご理解いただくために

Nabtesco

ナブテスコ主力7事業 (単体)

精密減速機

鉄道車両用機器

商用車用機器

舶用機器

航空機器

油圧機器

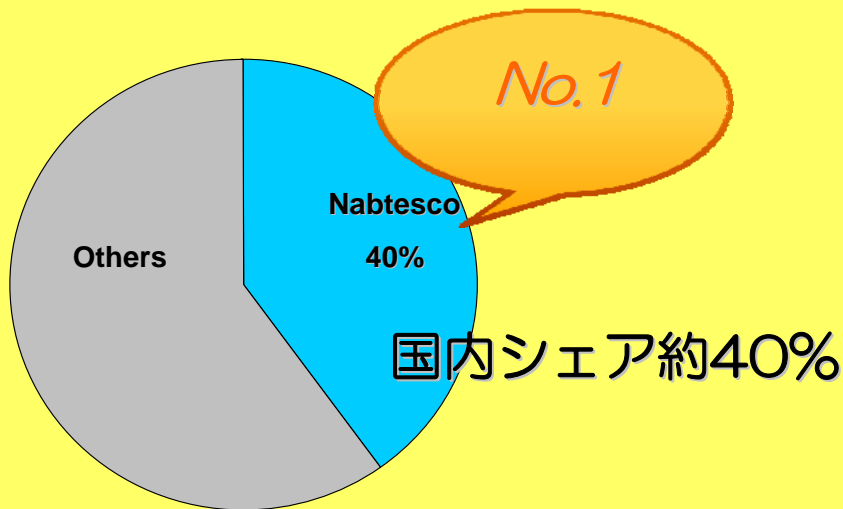
自動ドア

建設機械用走行ユニット の特徴とその市場展開

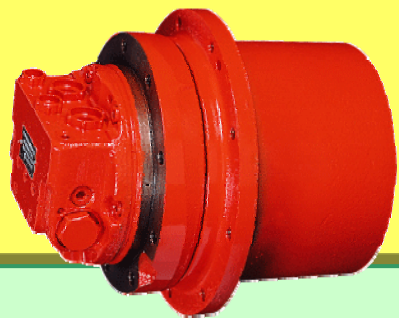
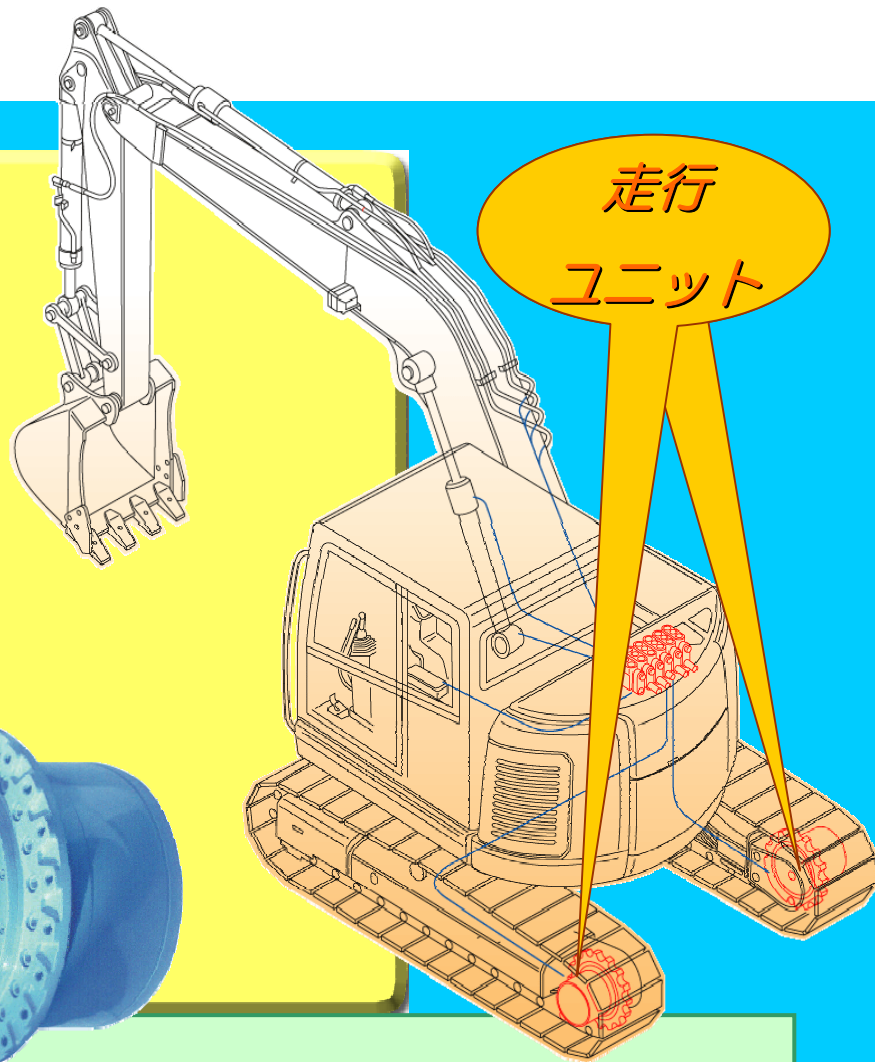
ナブテスコ技術本部

パワーショベル用走行ユニット

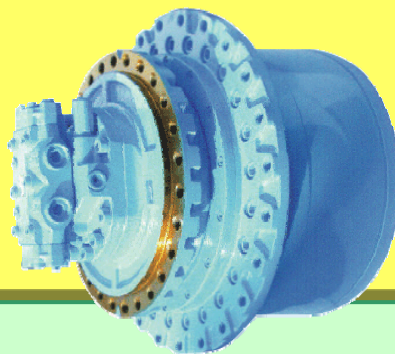
Nabtesco



国内シェア約40%



中小型用



大型用

走行ユニット 構造上の特徴

減速機:

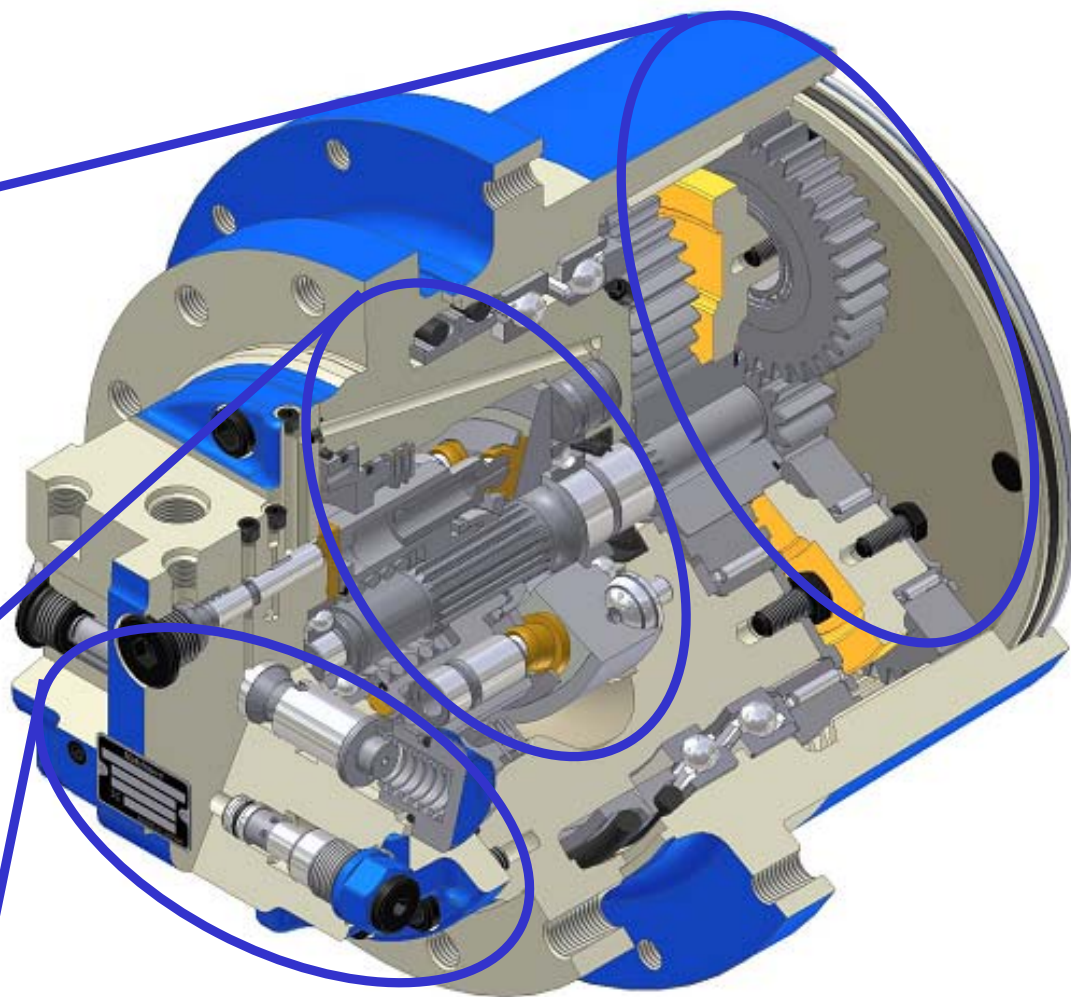
- ・インシュール丸型
- ・遊星2段減速機
- ・耐衝撃に優れる
- ・土砂磨耗に強い

油圧モータ:

- ・2速斜板モータ
- ・パーキングブレーキ付

ブレーキ弁:

- ・ショックがない停止
- ・走行フィーリング良



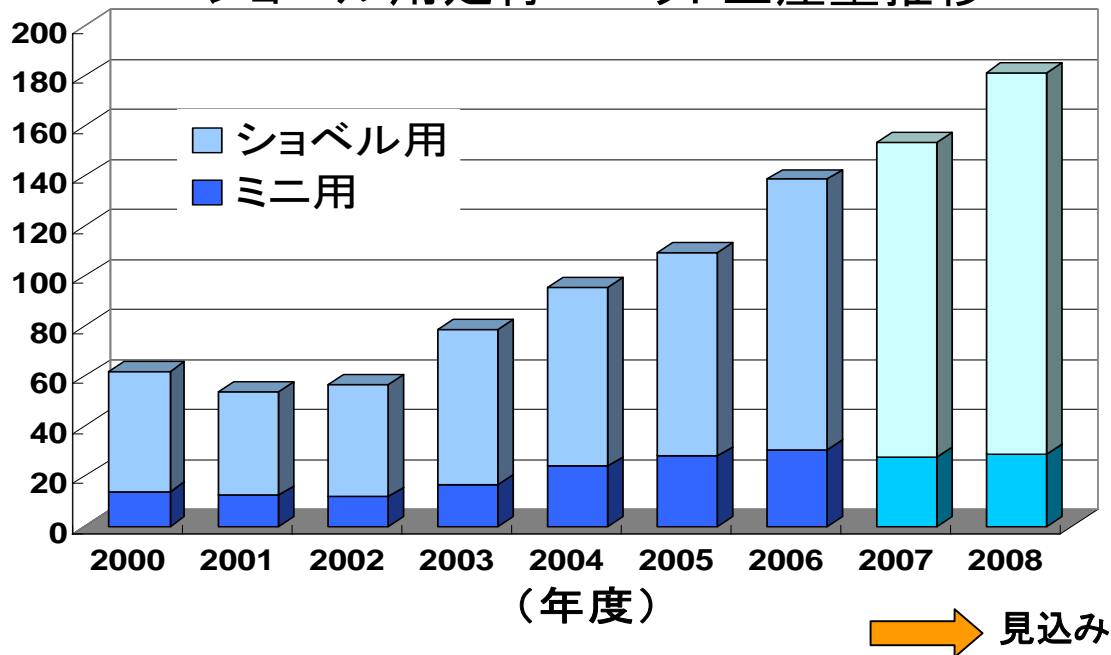
世界初のインシュールモータ

ラインナップと生産量推移

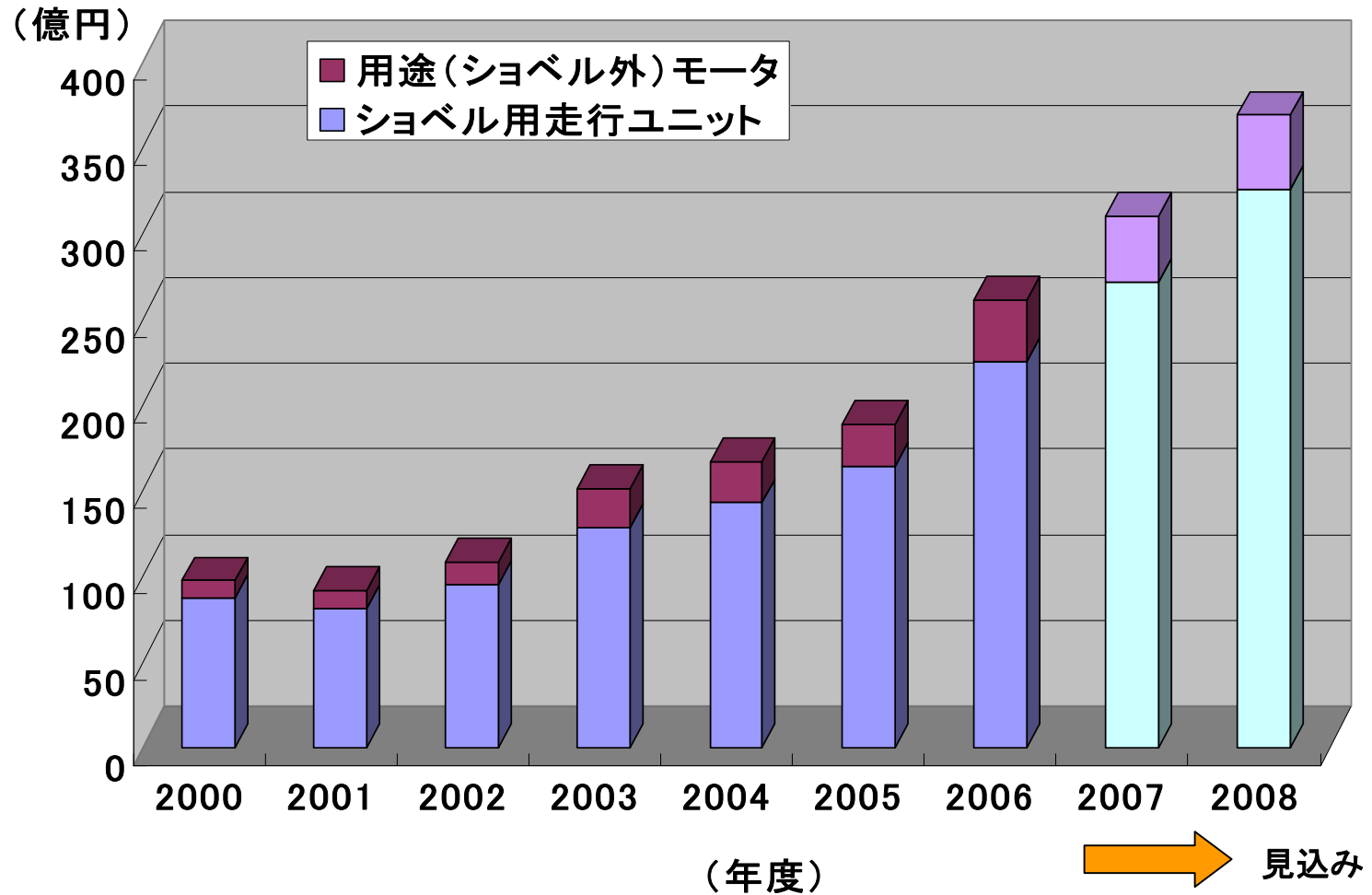


ラインナップ	小型 主力機種				中型 主力機種		大型 主力機種			全11機種	
	GM 04VA	GM 06VA	GM 10VA	GM 21VA	GM 24VL	GM 38VB	GM 45VA	GM 50VA	GM 60VA	GM 70VA	GM 80VA
適用 機体重量 (ton)	2.5 4.5	3 6	6 10	10 14.5	14.5 18	18 25	25 27	27 30	30 38	38 40	40 48

(千個) ショベル用走行ユニット生産量推移



売上高推移



生産拠点

Nabtesco

●上海ナブテスコ(中国)

中国現地生産メーカー向け走行ユニット生産

生産能力:月産 3千個強

●垂井工場

小型・中型走行ユニット

生産能力:月産 1万個弱

●西神工場

大型走行ユニット

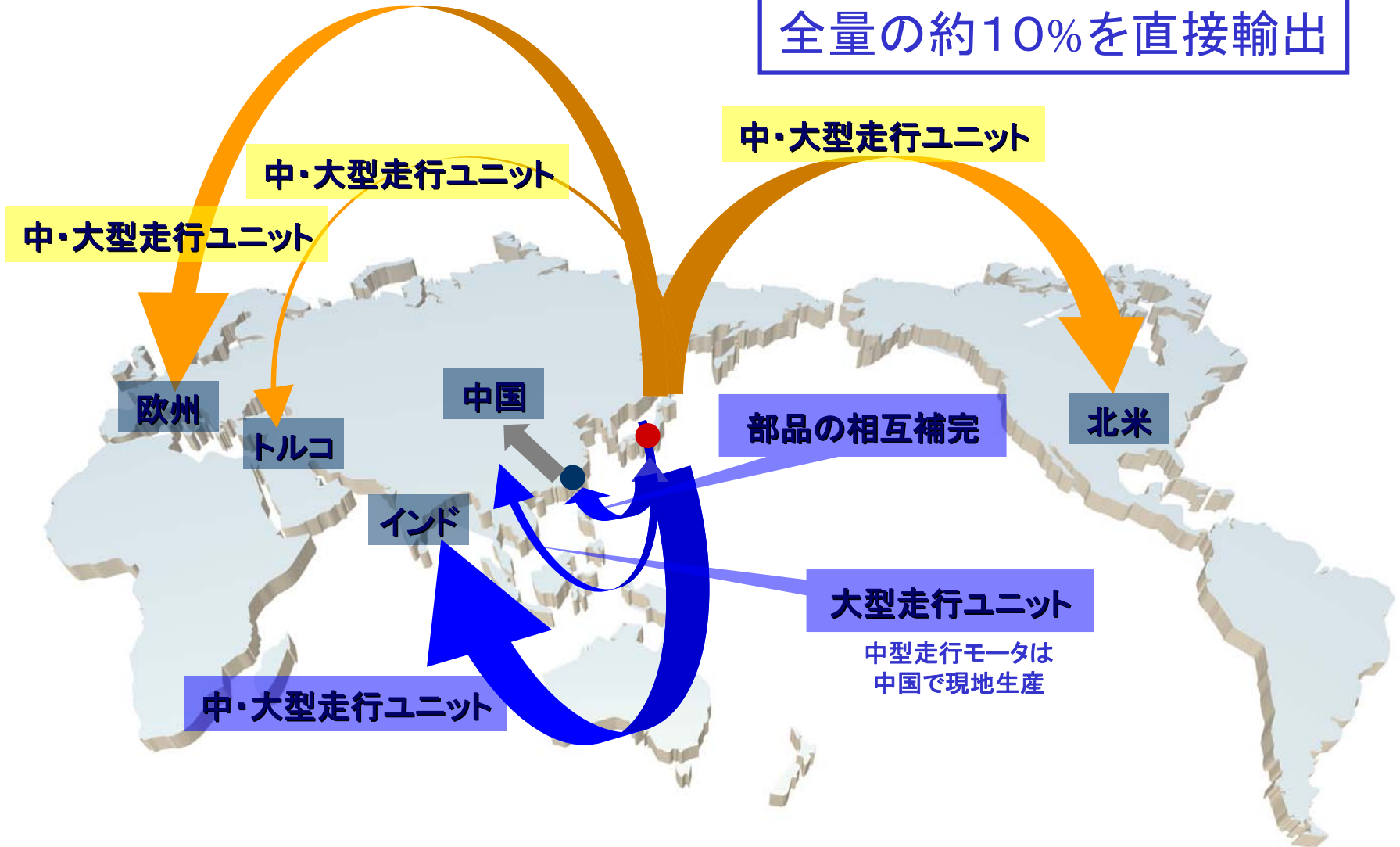
生産能力:月産 2千個弱

将来日本は開発センター—
高付加価値製品、
新製品製造に特化










走行ユニットの海外拡販

全量の約10%を直接輸出



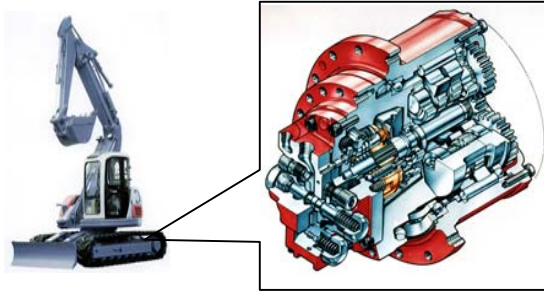
走行ユニットのロードマップ



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年～2014年
社会ニーズ 建設機械	環境対応・省エネ				
	排ガス規制Tier3対応			排ガス規制Tier4	
ショベル 走行ユニット	出力アップ、効率向上、コスト改善				次世代走行ユニット 電動駆動化・システム化 省エネ・低騒音・高効率
	拡販(国内、欧米、中国、インド、韓国)				
	Tier4対応 コスト改善(コンクリート設計)、高圧化、効率向上				
	小型 開発				
	中型 開発				
		大型 開発			
ショベル以外 用途モータ	クレーン巻上 ウインチ用	50～70ton用			大型ウインチ 
	アンダーキャレッジ 走行用	小型タイプ	中型タイプ		
	その他用途 走行モータ				

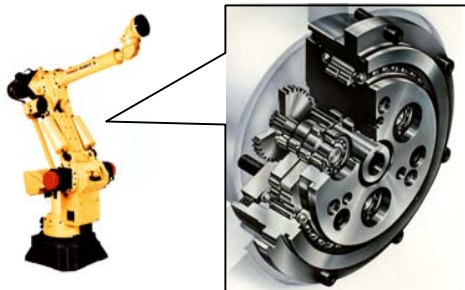
走行ユニットの風車用駆動装置への展開 **Nabtesco**

■ 建設機械用油圧走行ユニット



180万台の実績
(1977年～2007年9月)

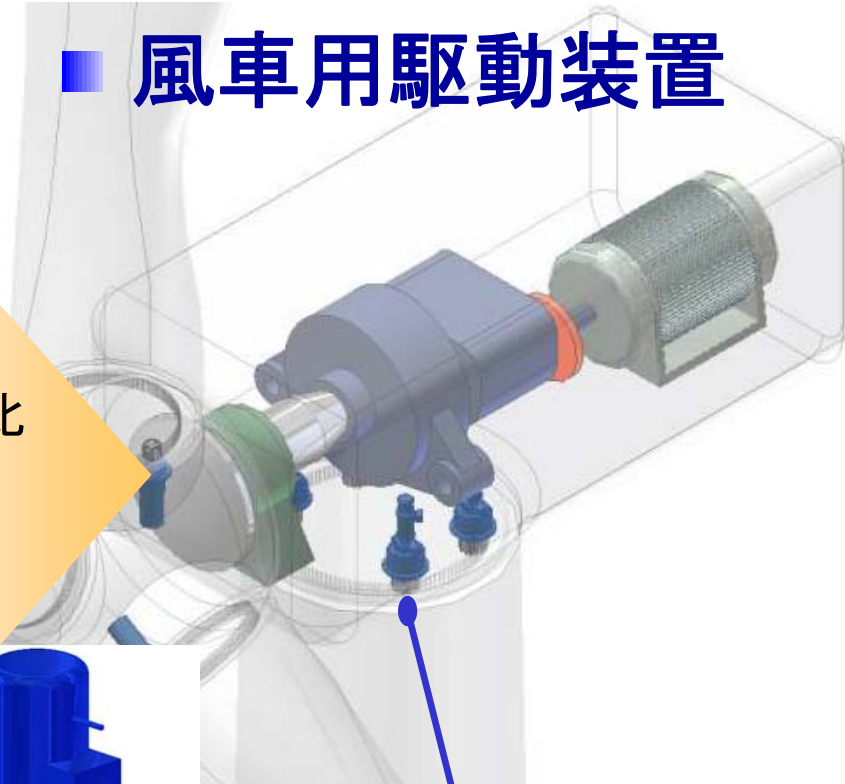
■ 産業ロボット用精密減速機



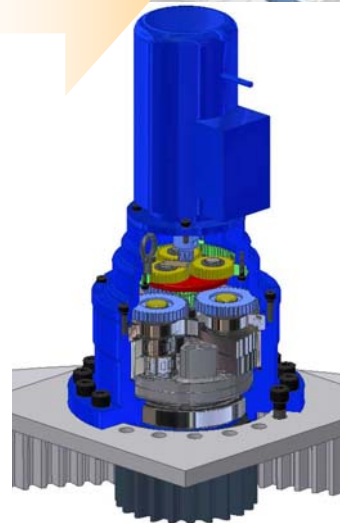
250万台の実績
(1986年～2007年3月)

■ 風車用駆動装置

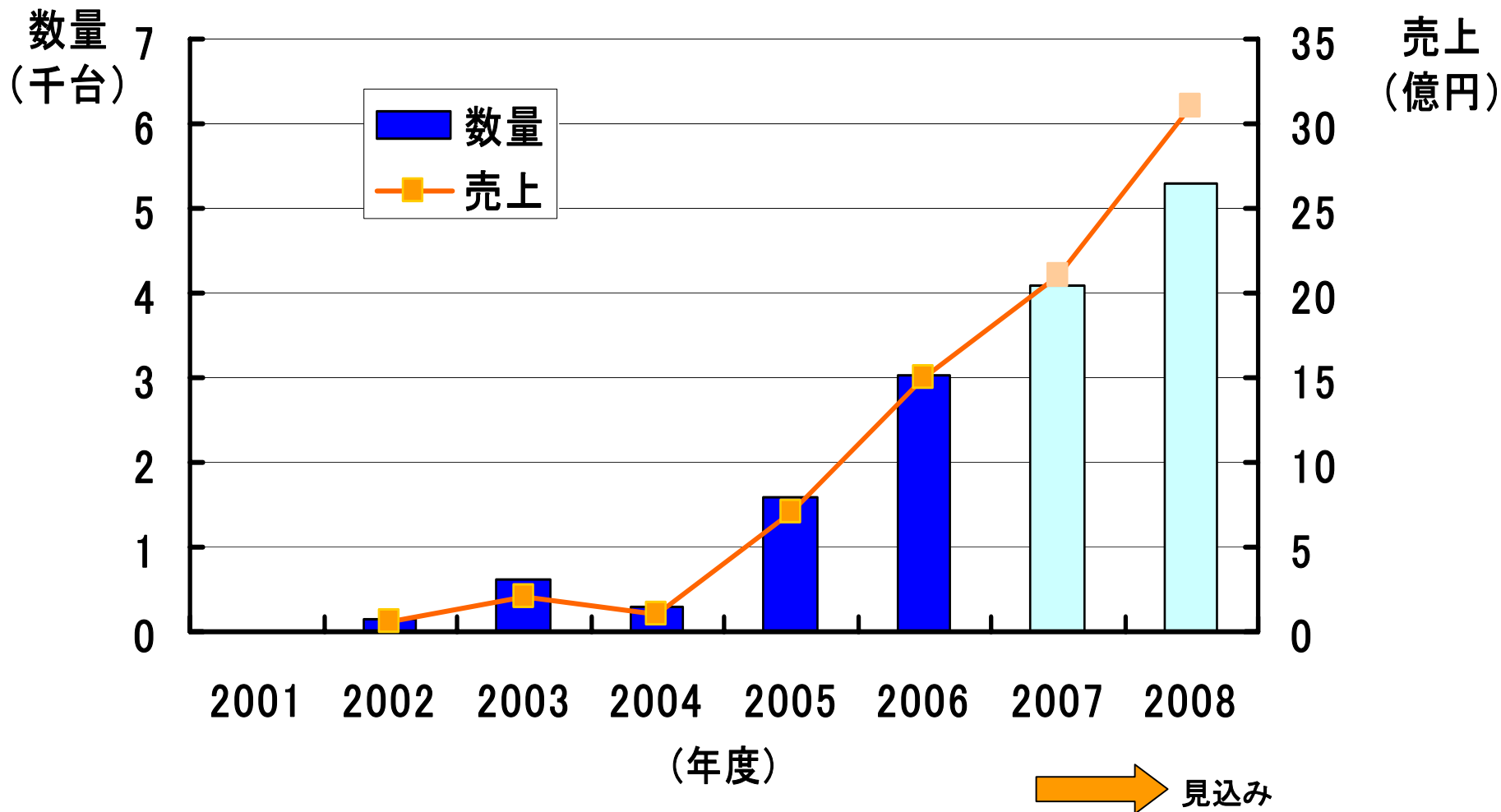
- ・高減速比
- ・高剛性
- ・高品質



Yaw駆動装置



風力発電機用駆動装置の 売上実績と見通し



コア技術と製品展開

建機・農機（走行、コントロールバルブ、ウィンチ、他）

風力発電機（駆動）

油圧

電動

電子制御（システム）

2011年

GM-X

次世代型
建機

2007年

省エネ

新製品

2003年

走行ユニット
GM

高集積化技術
トライボロジー

風力発電機用
駆動装置

耐衝撃・高減速比
メガワット

Nabtesco